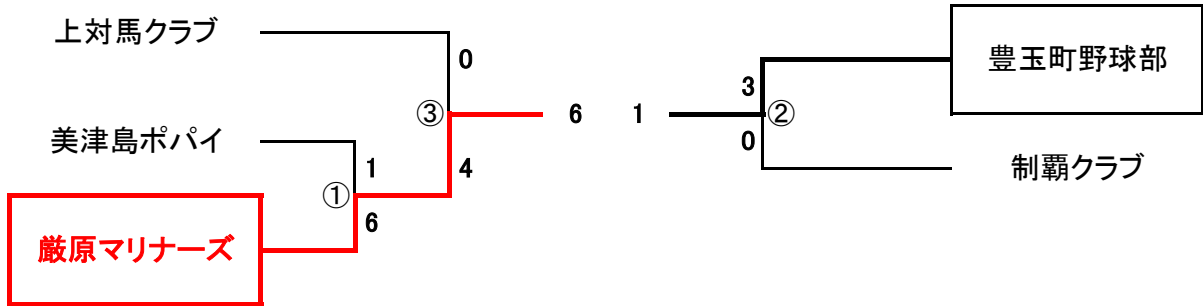


第59回 対馬島民体育大会 軟式野球競技会

会期 平成25年9月1日(日)

会場 峰野球場



①【一回戦】 8:59～1時間39分

美津島ポパイ	000 010 0	1
厳原マリナーズ	410 100 X	6

【二】 黒岩隆、
鬼橋、福島、坂本

初回の厳原は先頭鬼橋が中前打。野手のもたつきを見て二塁を陥れた二塁打後に黒岩が内野安打で続き捕逸で先制すると、神宮大の適時打に福島が左越え二塁打や一三塁からの重盗で4点を奪った。二回にも四球と鬼橋が安打の一二塁に敵失で追加すると四回は坂本の左中間適時二塁打で6点差を付けた。

美津島は初回到黒岩隆の中越えエンタイトル二塁打を連続三振で逸すると、二回の二死一三塁も後続無く、四回には一死二三塁を二者が凡退。五回一死から死球の西川迅が二盗後に三ゴロ悪送球で還ったが、六回にも黒川と波田が連打に死球の二死満塁も宮原から10個目の三振を喫しこままでに9人を塁に残した。

【美津島ポパイ】打安点球 【厳原マリナーズ】打安点球

⑦ 西川 迅 3 0 0 1	⑥ 鬼橋 佑介 3 3 0 1
⑤ 黒岩 隆樹 4 1 0 0	④ 黒岩 克成 2 1 0 2
⑥ 村瀬 恵二 4 0 0 0	② 坂本 元太 4 1 1 0
⑧ 小島 一輝 4 0 0 0	③ 神宮大司朗 2 1 1 1
① 中山 駿 4 1 0 0	⑧ 古川 優樹 3 0 0 0
④ 黒川憲太郎 3 2 0 0	⑤ 福島 剛士 2 1 1 0
② 波田 正嗣 3 1 0 0	H5 山代 毅 1 0 0 0
③ 西川 典夫 3 0 0 0	⑨ 神宮 圭太 2 1 0 1
⑨ 黒岩 大作 2 0 0 1	⑦ 岩本 一也 3 0 0 0
犠0振10残10併2 30 5 0 2	① 宮原 大輔 2 0 0 1

犠0振5残5併0 24 8 3 6

【審判】 武末(上ク)、津屋(サ)、吉村(ド)、吉田(サ)

②【準決勝】 10:57～1時間48分 (延長8回は無死満塁制)

豊玉町野球部	000 000 03	3
制覇クラブ	000 000 00	0

【二】 村瀬、小西 2

0-0で延長八回無死満塁制の豊玉は三振後に村瀬が左前打し二走者を還すと小島も三遊間に転がした満塁に暴投で3点目を挙げた。その裏の制覇は9番以下が三者凡退に倒れた。

七回までの得点機は豊玉が四度。二回一死二塁や二回は二死二三塁。四回には先頭の村瀬が左越えエンタイトル打するも二者が凡打で三進できず四球と敵失により満塁としたが三振に倒れた。五回にも2四球走者を三塁に進めることも出来なかった。

対する制覇は小西の2二塁打のみ。二回は先頭で左中間突破し敵失の無死二三塁に三者三振。四回に死球の二死三塁を逸した後に、小西2本目の二塁打は六回二死一塁の右中間エンタイトル打で不運の走者二三塁止まりとなった。

【豊玉町野球部】打安点球 【制覇クラブ】打安点球

④ 津屋 敏彦 4 0 0 0	⑥ 小宮 茂輝 4 0 0 0
⑥ 中目 剛 2 0 0 2	⑦ 須川 栄作 4 0 0 0
③ 横瀬 弘樹 4 0 0 0	③ 494 縫田 幸広 2 0 0 1
② 村瀬 裕亮 2 2 2 2	⑧ 3 小西 清弘 3 2 0 0
① 小島 洋平 3 1 0 0	⑤ 三槻 伸也 2 0 0 1
⑤ 長郷 健彦 3 0 0 1	② 糸瀬 慎吾 3 0 0 0
⑨ 吉田 周平 2 0 0 1	⑨ 高原 吉弘 1 0 0 0
⑦ 梅野 譲治 3 1 0 0	19 杉村 修一 2 0 0 0
⑧ 鶴元 将人 3 0 0 0	① 41 日下部智久 3 0 0 0
犠1振7残9併0 26 4 2 6	④ 8 丸島 敦 3 0 0 0

犠0振10残5併1 27 2 0 2

【審判】 黒川(無)、美津島ポパイ 3人

③【準決勝】 12:56～1時間9分

上対馬クラブ	000 000 0	0
厳原マリナーズ	100 030 X	4

【本】 坂本、宮原

【二】 洲河

厳原が2発の柵越え本塁打すると、宮原が完封し投打に活躍した。初回到死球の鬼橋が二盗死した後に坂本の左翼越えソロ弾で先制すると、五回一死後に福島が左前打と神宮圭の三塁内野安打。二死となって宮原の当りは右翼ポール際に叩き込む3ランでダメ押しをした。

宮原は美津島戦から連投。三回一死後に洲河から右中間エンタイトル打されたが後続を断ち、四回は先頭の辻から安打されるも二ゴロ併殺で切り抜け、六回と七回にも先頭に安打(小島)や敵失(梅野加)で生かし共に三塁まで進めるも、凌いで本塁を踏ませなかった。上対馬の残塁5に対して厳原は0だった。

【審判】 波多野(無)、制覇クラブ 3人

【上対馬クラブ】打安点球 【厳原マリナーズ】打安点球

① 6 小島 圭祐 2 1 0 1	⑥ 鬼橋 佑介 2 0 0 1
⑥ 4 梅野 英和 3 0 0 0	④ 黒岩 克成 3 0 0 0
③ 辻 将司 3 1 0 0	② 坂本 元太 3 1 1 0
⑤ 中原 恵一 3 0 0 0	③ 神宮大司朗 3 0 0 0
② 梅野加寿人 3 0 0 0	⑧ 古川 優樹 2 0 0 0
⑧ 浦崎 亮真 2 0 0 0	⑤ 福島 剛士 2 1 0 0
H 板井 俊哉 1 0 0 0	⑨ 神宮 圭太 2 1 0 0
⑨ 7 扇 伸秀 2 0 0 0	⑦ 岩本 一也 2 0 0 0
7 小島 健 1 0 0 0	① 宮原 大輔 2 1 3 0
④ 9 洲河 直樹 3 1 0 0	犠0振1残0併1 21 4 4 1
⑦ 武末 修一 2 0 0 0	
91 國分祐太郎 0 0 0 0	

犠0振6残5併0 25 3 0 1

【決勝】14:25～1時間40分

厳原マリナーズ	000 411 0	6	【二】鬼橋、古川、小島 2
豊玉町野球部	000 010 0	1	

双方とも初回到四死球で得た得点機を逃した。二回の豊玉は先頭小島が二塁打し四球と暴投の一死に三塁も連続三振。三回の厳原も一死後に鬼橋の二塁打を生かせずにいた。

厳原の宮原は3試合連続投。豊玉の小島も制覇戦で八回完封しての連投だったが、12イニング目となる四回に4失点した。先頭の古川に三塁内野安打。二盗後に福島の前ランナーも自らの野選で生かし続く神宮圭にも投前ランナーヒットを本塁への野選として初失点。一死後の二三塁で宮原に中前2点打されると鬼橋も右前打(二盗)で一死二三塁。黒岩のランナーヒット空振りでも三本間に挟んだが三塁に悪送球で4点目を失った。

更に厳原は五回、四球と敵失の一死一三塁に神宮圭が右に転がし加点。六回には代わった津屋から先頭鬼橋が死球。二盗と中飛で三進の一死三塁に坂本が左犠飛。

豊玉は四回に小島の安打も併殺で仕留められ、五回に四球と鶴元が安打の一三塁に三塁ファールフライを捕球後にベンチに倒れこむ間に三走が還った。六回に小島の左線二塁打は次打者の三振振り逃げで三塁を廻ったが、本塁で憤死した。

厳原マリナーズは11月9、10日に長崎市で開催の県民体育大会に4年連続四度目の出場をする。

【厳原マリナーズ】打安点球	【豊玉町野球部】打安点球
⑤ 鬼橋 佑介 2 2 0 2	④1 津屋 敏彦 3 0 1 0
R5 山代 毅 0 0 0 0	⑥ 中目 剛 3 0 0 0
④ 黒岩 克成 3 0 0 0	③ 横瀬 弘樹 2 0 0 1
② 坂本 元太 2 0 1 1	② 村瀬 裕亮 3 0 0 0
③ 神宮大司朗 2 0 0 2	①8 小島 洋平 3 3 0 0
⑧ 古川 優樹 4 2 0 0	⑤ 長郷 健彦 3 0 0 0
⑥ 福島 剛士 3 0 0 0	⑨ 吉田 周平 1 0 0 2
⑨ 神宮 圭太 4 1 2 0	⑦ 梅野 譲治 3 0 0 0
⑦ 岩本 一也 3 0 0 1	⑧ 鶴元 将人 2 1 0 0
① 宮原 大輔 4 1 2 0	4 須川 茂 1 0 0 0
犠3振4残9併1 27 6 5 6	犠0振5残5併0 24 4 1 3

【審判】黒川(無)、上対馬クラブ3人

最優秀選手賞	宮原 大輔 (厳原)
優秀選手賞	坂本 元太 (厳原)
敢闘賞	小島 洋平 (上対馬)
	鬼橋 佑介 (厳原)
打撃賞	鬼橋 佑介 (厳原)
	3試合11打席7打数5安打

この大会で3試合完投した宮原大輔(32)の投手成績は21回を投じて

打者	打数	被安打	二塁打	三塁打	本塁打	塁打数	犠打	犠飛	四球	死球	三振	失点	自責点	防御率
85	79	12	4	0	0	16	0	0	6	1	21	2	1	0.48

の見事な最優秀選手賞に値する成績であった。

対馬で初めての峰野球場が完成したのは昭和56年5月。宮原はその年の8月に出生している。同年9月の島民体育祭(当時)でこんな投手記録も生まれている。美津島メッツの吉野徹(32)は3試合を完投し決勝戦で敗戦した。投球回数は31回3分の1投じて

打者	打数	被安打	二塁打	三塁打	本塁打	塁打数	犠打	犠飛	四球	死球	三振	失点	自責点	防御率
115	103	16	3	1	0	21	2	2	4	4	16	7	2	0.57

3試合のスコアは一回戦が2-2で延長戦。九回で決着付かず美津島メッツ200 000 000 3 5 一死満塁制(当時)。任意打上対馬クラブ001 100 000 2 4 順で延長十回に決着した。

上対馬の投手は昭和52年の高松宮賜杯2部全国大会で優勝投手の大浦康伸(30)が七回まで。八回から長友義夫が登板した。

準決勝戦の豊玉クラブ	美津島メッツ	110 010 0	3
は左腕の松尾龍典(23)。	豊玉クラブ	000 000 0	0

そして決勝戦が厳原海王。一回戦から勝ち上がってきたが、準決勝戦から登板の中庭貢(30)と吉野の投げ合いは…、

美津島メッツ	000 100 000 100 000	2	(延長15回)
厳原海王	000 100 000 100 001x	3	

七回1-1同点で延長八回から通常の延長戦に入った。九回を終えても決着が付かず本来なら十回は一死満塁制。だが観戦していた栗谷輝男野球連盟会長の「照明灯があるのだから、通常の延長戦で…」により十回の攻防に。美津島は2安打の二三塁から暴投により勝ち越した。だが厳原は先頭死球と二塁打の二三塁に中犠飛で同点とし、14回の攻防を終わって2-2同点。

15回は任意打順の一死満塁制。美津島は2番から始めたがス



クイズ投飛と二塁ゴロ。厳原は3番の永留弘和が投前にスクイズ。取りに行く気力が吉野には無く32イニング目115人目の打者との対戦を終えた。試合時間は3時間20分で終了は8時20分だった。

閉会式で栗谷会長は敗戦投手の吉野に最優秀選手賞を贈り、2試合を投げて優勝投手の中庭に優秀選手賞を授与した。

佐世保で開催の県民体育大会での厳原海王は、初戦の勝本北星(壱岐)を1-0。続く奈良尾クラブ(上五島)も1-0と中庭が連封。翌日準決勝戦の健友クラブ(島原)も1-0で封じた決勝戦は親和銀行(佐世保)。1-5で敗戦はしたが、県体では昭和48年の厳原キング以来8年ぶりの準優勝となった。

厳原海王は県選手権の対馬予選会も制し、春にあった高松宮賜杯1部の代表にもなっており、年間3大会(天皇賜杯予選会は昭和61年から)制覇し、選手権では大村市役所に勝利(1-0)している。

2年後(58年)の県民体育大会では、大浦康伸を補強した上県クラブが4勝して対馬勢で初優勝。

平成元年以降の対馬島民体育大会軟式野球競技会の決勝戦戦績と、県民体育大会での戦績

元年	美津島マーシャルズ 8-1 峰ファイターズ	長崎	1-0 中村クラブ(大村)	1-2 小長井クラブ(北高)
2年	上対馬クラブ 4-0 厳原シーガルス	佐世保	2-3 福江ビクトリー(福江)	
3年	美津島マーシャルズ 3-1 豊玉コメッツ	諫早	0-3 大瀬戸クラブ(西彼)	
4年	上対馬ライオンズ 5-3 厳原ワイズ	長崎	1-3 鹿町町(北松)	
5年	上対馬ライオンズ 5-2 豊玉町野球部	佐世保	1-2 福江市役所	(二日目は雨天で中止。4チーム優勝)
6年	上対馬ライオンズ 3-1 美津島マーシャルズ	諫早 (BEST4)	3-2 西海クラブ(佐世保)	0-1 安中クラブ(島原)
			0-1 三菱重工長崎	
7年	豊玉町野球部 7-0 美津島ポパイ	長崎	4-0 松石電設(諫早)	0-4 三菱重工長崎
8年	上県佐護リバーズ 7-0 豊玉町野球部	佐世保	0-6 福江市役所	
9年	上対馬クラブ 6-4 上県佐護リバーズ	諫早	1-0 J A 五島(福江)	1-3 アイケ医院(佐世保)=優勝
10年	豊玉町野球部 4-2 大洋真珠クラブ	長崎	3-2 御厨ベイスターズ(松浦)	0-1 平戸クラブ
11年	上対馬メッツ 1-0 厳原マリナーズ	佐世保	0-2 千々石町野球部(南高)	
12年	厳原レパーズ 8-5 豊玉町野球部	諫早	0-1 南串野球部(南高)	
13年	豊玉町野球部 4-1 上対馬ライオンズ	長崎 (準優勝)	3-0 メンフッズ福江	1-0 大村市役所
			5-3 長崎市役所	0-7 ソニー長崎(諫早)
14年	上対馬メッツ 2-0 豊玉町野球部	佐世保 (BEST4)	4-3 富江クラブ(南松)	3-0 東海クラブ(壱岐)
			0-2 三菱重工長崎=優勝	
15年	豊玉町野球部 7-0 上県アスレチックス	諫早	2-4 アイケン医院マッスルズ(佐世保)	
16年	豊玉サンライズ 4-2 上対馬メッツ	長崎	2-4 西海棒球団(西彼)	
17年	厳原レパーズ 1-0 制覇クラブ	佐世保	0-8 ニューインペリアルレッズ(大村)=優勝	
18年	上対馬クラブ 2-1 厳原NYビーンズ	諫早	3-0 御厨ベイスターズ(松浦)	4-0 TEAM橋口(大村) 大会二日目が雨天のため、ベスト4チームが同率優勝
19年	制覇クラブ 5-4 豊玉サンライズ	長崎	1-2 新上五島町	
20年	豊玉サンライズ 4-1 上対馬クラブ	佐世保	4-3 南有馬クラブ(南島原)	1-5 池島クラブ(西海)
21年	制覇クラブ 4-2 上対馬メッツ	諫早	0-6 富江クラブ(五島)	
22年	厳原マリナーズ 12-1 豊玉町野球部	長崎	3-5 A L L 生月(平戸)	
23年	厳原マリナーズ 3-2 豊玉町野球部	佐世保	9-0 箱崎クラブ(壱岐)	2-9 彼杵スラッガーズ(東彼)
24年	厳原マリナーズ 5-3 上対馬メッツ	諫早	1-2 彼杵スラッガーズ(東彼)	

昭和年代の対馬島民体育大会軟式野球競技会の決勝戦戦績と、県民体育大会での戦績

46年	昭和24年から始まった『玄海体育祭』が、最後の第18回大会(平戸開催)のため、県体には不参加。				
47年	厳原町	不明	上対馬町	佐世保 0-4 南高	
48年	親和会キング(厳原)	4-2	美津島町	長崎	一回戦は不明
				(準優勝)	1-0 平戸
49年	厳原町	不明	不明	長崎	初日に4試合消化で雨。第二日も雨天で打ち切り中止。
50年	上対馬町	不明	不明	佐世保	0-2 菊池病院(松浦)
51年	上対馬町	不明	豊玉町	諫早	初戦突破の二回戦で南高来郡に敗退
52年	厳原マックス	不明	不明	長崎	不明
53年	上対馬漁協	不明	不明	佐世保	1-2 海自造修所(佐世保)
54年	豊玉町	不明	美津島町	諫早	2-4 長崎市役所 (二日目は雨天で中止。4チーム優勝)
55年	上対馬クラブ	不明	厳原町	長崎	5-2 千住スポーツ(諫早) 3-4 長崎市役所
56年	厳原海王	3-2	美津島メッツ (延長15回)	佐世保	1-0 勝本北星(壱岐) 1-0 奈良尾クラブ(南松)
				(準優勝)	1-0 建友クラブ(島原) 1-5 親和銀行(佐世保)
57年	厳原海王	不明	美津島町	諫早	2-3 長崎日野自動車=優勝
58年	上県クラブ	不明	美津島メッツ	長崎	4-3 平戸クラブ 3-1 波佐見コスモス(東彼)
				(優勝)	3-2 轟クラブ(北高) 3-1 御厨クラブ(松浦)
59年	上対馬ニュー北斗	11-2	豊玉クラブ	佐世保	1-4 電源開発(西彼)
60年	美津島マーシャルズ	1-0	峰ファイターズ	諫早	0-6 勝本北星(壱岐)
61年	上対馬ニュー北斗	2-1	美津島マーシャルズ	長崎	1-1 抽選=県共済連(長崎) 0-1 長崎無線局(諫早)
62年	豊玉クラブ	8-0	峰ファイターズ	佐世保	2-1 轟クラブ(北高) 1-2 平戸クラブ
63年	豊玉クラブ	5-1	美津島パイレーツ	諫早	6-0 波佐見陶球ク(東彼) 2-1 中興化成工業(松浦)
				(BEST4)	0-3 長崎県共済連(長崎)=優勝